

佐渡市立図書館資料選定基準

令和年 月 日制定

1 趣旨

佐渡市図書館収集方針及び佐渡市立図書館資料収集要綱に基づいた資料収集を行うため、資料別の選書基準に関して必要な事項を定めるものとする。

また、島内の10地区に存する図書館図書室について各館の規模や機能といった特徴を踏まえ、資料を選定する。さらに、お互いに資料収集を分担することにより、図書館全体として「基礎的な資料から専門的な資料まであらゆる分野について段階的に幅広く収集」することができるよう協力し合うものとする。

利用者が希望する資料で、当市の図書館が所蔵していない場合は、蔵書構成、県内他館での相互貸借での貸出等を考慮しながら、購入の可否を検討する。

2 佐渡市立図書館の組織及び各館室選書考え方

(1)佐渡市立図書館の組織は、次のとおりである。

① 中央図書館

② 地区図書館

両津図書館、真野図書館、さわた図書館、小木図書館

③ 図書室

新穂図書室、畑野図書室、相川図書室、羽茂図書室、赤泊図書室

(2)各図書館図書室の選書の考え方

島内10地区にある図書館図書室の歴史的、文化的、人物、自然、地域的背景や、将来的な地区計画等を総合的に勘案し、各図書館の特色が出るような選書の推進を図る。

中央図書館は、佐渡市立図書館の中核として位置づける。

3 共通選定基準

(1)図書購入予算、各図書館・室の受入れスペースについて限りがあることから、収集方針及び収集要綱に基づき、個々の内容や、利用価値、類書の有無を考慮し、適正な蔵書構成を保つように努める。

(2)各分野の基本図書を備えるほかに、最新の情報、時代の要請にあった図書を重視し、収集に努める。

(3)子育て支援などの課題解決につながる資料は、収集に努める。

(4)大活字本など高齢者の利用につながる資料収集に努める。

4 分類別選定基準

(1)一般図書

①総記（分類 0 類）

a 情報科学・コンピュータに関する資料は、基本的な技術書・実用書を収集し、また、最新の情報を提供できるよう収集に努める。

b 図書館・書誌学・著作権等に関する資料は収集に努める。

②哲学（分類 1 類）

- a 各分野の基本書を中心に収集に努める。
- b 宗教は、特定の宗教・宗派に偏らないよう基本書を中心に収集に努める。

③歴史・地理（分類 2 類）

- a 特定の歴史観や学説に偏らないよう収集に努める。
- b 伝記は、特定の人物に偏らないよう収集に努める。
- c 旅行ガイドや地図は、最新の情報を提供できるよう収集に努める。

④社会科学（分類 3 類）

- a 多様な学説等を学べるよう収集に努める。
- b 各分野の基本書、入門書、概説書、実用書の収集に努める。
- c 社会科学の今日的テーマを扱った資料の収集に努める。
- d 法律及び税金・年金・介護など日常生活に必要な実用書は、最新の資料を収集に努める。

⑤自然科学（分類 4 類）

- a 各分野の基本書を収集に努める。
- b 自然科学は入門書や概説書までを収集の範囲とし、わかりやすく書かれた資料を中心に収集に努める。高度な専門書は収集しない。
- c 医療・健康・栄養学など関心の高い分野については、最新情報資料の収集に努める。

⑥工学（分類 5 類）

- a 各分野の基本書を収集に努める。
- b 工学は入門書や概説書までを収集の範囲とし収集に努める。
- c 最新の情報を提供できるように収集に努める。
- d 住宅・インテリア・ファッション・料理の分野は、趣味や実用に役立つ資料収集に努める。

⑦産業（分類 6 類）

- a 各分野の基本書を収集に努める。
- b 産業は入門書や概説書までを収集の範囲とし収集に努める。
- c 各種産業の今日的課題を扱った資料を積極的に収集に努める。
- d 園芸・ペットなどの分野は、趣味・実用に役立つ資料を収集に努める。

⑧芸術・音楽・スポーツ（分類 7 類）

- a 市民の教養・趣味・娯楽に役立つ資料を幅広く収集に努める。
- b 趣味として利用の多い分野は、入門書を中心に収集に努める。
- c 美術全集・画集・写真集は、基本書を中心に収集に努める。

⑨言語（分類 8 類）

- a 日本語・英語など主要な言語の基本書収集に努める。
- b 主要言語の辞典の収集に努める。
- c あいさつ・スピーチ・手紙の書き方についての資料は、実用性を考慮し収集に努める。

⑩文学（分類 9 類）

- a 市民の利用が多い分野であり、豊富な資料を幅広く収集に努める。
- b 日本文学については、現代作家から古典まで幅広く収集に努める。

- c 外国文学についても、日本文学に準じ収集に努める。
- d 主要な文学賞受賞作品や読み継がれる名著は積極的に収集に努める。
- e 個人文学全集については厳選し収集に努める。
- f 児童文学関係資料は、絵本論や児童文学研究書を中心に収集に努める。

(2)参考図書（専門図書を含む。）

①総記（分類 0 類）

- a 百科事典、年鑑等は、厳選し資料収集に努める。
- b 図書館資料の選択に必要な資料、書誌、改題及び目録類は、厳選し収集に努める。
- c 図書館に関する資料、書誌及び関係機関に関する資料は、収集に努める。

②哲学（分類 1 類）

- a 各分野の代表的原典を中心に収集に努める。

③歴史・地理（分類 2 類）

- a さまざまな学説の原典や資料集の収集に努める。
- b 多様な歴史観を学べるよう、幅広く収集に努める。

④社会科学（分類 3 類）

- a 総論から各論まで幅広く収集に努める。

⑤自然科学（分類 4 類）

- a 最新の学説や情報を常に提供できるよう留意する。
- b 自然科学の各分野の高度な専門書は、大学図書館等に役割をまかせ、収集しない。

⑥工学（分類 5 類）

- a 最新の技術や情報を提供できるよう留意する。
- b 基本書の資料の収集に努める。

⑦産業（分類 6 類）

- a 産業界の今日的テーマに関わる資料を積極的に収集に努める。
- b 佐渡市と関わりが深い産業についての資料を積極的に収集する。

⑧音楽・スポーツ・諸芸（分類 7 類）

- a 趣味として利用の多い分野については、上級者向けの資料も幅広く収集に努める。

⑨言語（分類 8 類）

- a 辞典類は、言語の核となる資料であり、英語等利用の多いものを中心に収集に努める。

⑩文学（分類 9 類）

- a 書誌・辞典・事典・便覧など文学研究の参考になる資料を収集に努める。
- b 文学を対象とした研究者の著作・評論集などを収集に努める。

(3)児童書（絵本・紙芝居を含む。）

1) 共通選定基準

- ① 読書の楽しさ、知る事の喜びを子ども達が体験できるような資料収集に努める。
- ② 児童書の名作資料は、子ども達がいつでも手にとれるよう収集に努める。
- ③ 利用が多く見込まれる資料は、適切な数の複本を蔵書とする。
- ④ 調べ学習に役立つ資料は収集に努める。

- ⑤ 佐渡市の自然、文化、人物、歴史についての調査研究に役立ち、子どもの関心に応えることのできる資料収集に努める。
- ⑥ 子どもと本をつなぎ、本を通じて社会と繋げるような資料収集に努める。

2) 分類別選定基準

①総記（分類 0 類）

- a 百科事典を中心に、調べ学習に役立つ資料を収集に努める。

②哲学（分類 1 類）

- a わかりやすい哲学、倫理、思想及び宗教の資料を収集に努める。
- b 子どもたちの悩みにこたえられる資料収集に努める。

③歴史・伝記・地理（分類 2 類）

- a 歴史は、史実に基づいているものを収集に努める。
- b 伝記は、人物像が史実に基づいているものを収集に努める。
- c 地理は、最新の情報の収集に努める。

④社会科学（分類 3 類）

- a 社会に対する見方を広げ深めることのできる資料を収集に努める。
- b 社会の新しい動向について記述されている資料を収集に努める。

⑤自然科学（分類 4 類）

- a 科学的な物の見方や考え方を育てることができるよう資料収集に努める。
- b 自然に対する興味を広げ、自然と触れ合いたくなるような資料収集に努める。
- c 図、写真及びイラストなどを効果的に使った資料の収集に努める。

⑥工業・技術・家庭（分類 5 類）

- a 科学技術とその応用について、わかりやすく書かれた資料を収集に努める。
- b 乗り物・料理・手芸などは、子どもの趣向に留意して資料を収集に努める。
- c 科学や技術の進歩に合わせ、新しい内容の資料を収集に努める。

⑦産業（分類 6 類）

- a 各種産業について、わかりやすく書かれた資料を収集に努める。
- b ペットの飼い方や園芸は、実用性の高い資料を収集に努める。。
- c 産業の新しい動向に沿った内容の資料を収集に努める。

⑧芸術・スポーツ・遊び（分類 7 類）

- a 子どもが創作や制作の意欲を高めながら、楽しみ、遊べる実用性の高い資料を収集に努める。
- b 子どもたちの趣向や流行に留意し、幅広く資料を収集に努める。
- c 図、写真、イラストなどを効果的に使った資料の収集に努める。

⑨言語（分類 8 類）

- a 言語は語学の学習に役立つ資料を収集に努める。
- b 主要言語については、入門的資料を収集に努める。
- c 方言について、わかりやすく書かれた資料を収集に努める。

⑩文学（分類 9 類）

- a 利用の多い分野であり、豊富な資料を収集に努める。
- b 豊かな想像力や空想力を養い、視野を広げられる作品を中心に収集に努める。

(4)絵本

- ①乳幼児向けの絵本については、物への認識、言葉を覚える時期であることから、言葉の繰り返しを楽しむ絵本や、色や形の面白さ、動物、食べ物、などの赤ちゃん向けの絵本の収集に努める。
- ②3・4歳向けの絵本については、物語性が楽しめる絵本や、幼児向け科学の絵本の収集に努める。
- ③5・6歳向けの絵本については、本格的昔話や、複雑な物語絵本、科学の絵本の収集に努める。
- ④歴史的評価を得た名作絵本の収集に努める。
- ⑤新しい絵本に関しても人気のある絵本の収集を検討する。

(5)紙芝居

- ①子どもや大人が楽しめる作品の収集に努める。
- ②佐渡を題材とした紙芝居の収集に努める。

(6)マンガ

- ①評価の定まった作品の収集について検討する。
- ②佐渡を題材としたマンガや、佐渡市出身者の漫画家による作品について収集を検討する。
- ③マンガの視覚的な特性を考慮し、次のことに留意する。
 - a 暴力及び性表現の露骨な作品は慎重に選定する。
 - b 反社会的・非道徳的な事象を扱っている作品は慎重に選定する。
 - c プライバシーや人権の侵害にあたるおそれが有ると認められるものについては慎重に選定する。

(7)ヤングアダルト資料

- ① ヤングアダルト（概ね12歳から18歳までの青年期利用者対象の資料）を対象とした資料は、個人的関心、学習課題、娯楽など総体的要求に応えられる資料の収集に努める。
- ② 「IFLA（国際図書館連盟）ヤングアダルトへの図書館サービスガイドライン」を踏まえ、児童サービスから一般サービスへの移行をニーズにそった形で行えるような資料の収集、また、生涯学習、情報リテラシー、楽しみの読書を促進できる資料の収集に努める。

(8)美術資料

- ① 教養、趣味、鑑賞、研究、制作、技術など、入門書を中心に収集に努める。
- ② 美術全集、画集、写真集、工芸名品集などは、基本的なものを中心に幅広く収集に努める。

(9)郷土資料

- ① 郷土の歴史・文化を後世に引き継ぐため、当市に関する多様な資料を収集に努める。
- ② 利用者の郷土に関するあらゆる調査研究に応えるため、網羅的に資料を収集に努める。
- ③ 資料の保存を考慮して、原則として複本で収集に努める。
- ④ 資料は、網羅的に収集することを原則とし、次の資料を収集に努める。
 - a 当市の歴史、地理、地誌、自然、産業、経済などを取り扱ったもの(研究、記録、写真など)
 - b 当市の人物、事柄を取り扱ったもの
 - c 当市に伝わる事柄を取り扱ったもの(説話、伝説、民話、言葉、風俗、習慣など)
 - d 当市出身の文学者の文学作品及び評論
 - e 市内官公署の刊行する資料
 - f 市内所在の各機関の社史、団史
 - g 当市出身者や在住者など、当市に特に深い関係を有する人の作品、目録など
 - h 市内において出版されたもので当市に関係を有するもの
 - i 当市について記述されている雑誌、新聞、パンフレットなど

(10)古文書

古文書は博物館が主に収集するが、連携する中で収集、保管を検討する。

(11)外国語資料

- ① 文学作品(外国語訳された日本文学・外国語の原書)を中心に、日常生活の参考になる実用書も含めて収集に努める。
- ② 優れた絵本や児童文学などを収集に努める。
- ③ 佐渡市在住の外国の方向けに、日本語学習のための資料についても留意する。

(12)雑誌

- ① 市民の趣向や流行に留意し、各分野や他館とのバランスを考慮して収集に努める。
- ② 雑誌の収集期間は、各館のスペース等や一館での保管も含め総合的に検討する。

(13)新聞

- ① 地元紙及び主要な全国紙を収集する。
- ② 新聞の収集期間は、郷土資料としての要素、歴史的・地域的要素や保存場所等を考慮し決定する。

(14)視聴覚資料等

① 視聴覚資料

各分野の代表的な作品を中心に、趣味・レクリエーション・ビジネス・日常生活に役立つ資料を収集し、郷土史などの市販資料及び自主制作資料にも留意する。

- a 音声資料は、CDを中心に収集する。地元で活動するアーティストにも留意する。
- ア クラシック音楽は、各部門の基本的な曲目で、音楽史に影響を与えた演奏を収録した資料
- イ ポピュラー音楽は、各年代の代表的な曲目を収録した資料
- ウ 民族音楽は、各民族の代表曲を収録した資料
- エ その他の部門は、代表的な名作や名演を収録した資料

b 映像資料は、DVDを収集することとし、著作権（上映・館内視聴・館外貸出）許諾済の資料を収集対象とする。

ア 映画作品については、評価の定まった作品を収集に努める。

イ 趣味、ビジネス、日常生活に役立つ資料を収集に努める。

(15)特色資料

① 各図書館・図書室は、図書館の地域、人物、自然、文化的背景により、各館の特色を打ち出すために、特色資料として別表の資料を収集に努める。

